

## 令和4年4月 文書質問及び回答

- 1 質問者 中田豪之助議員  
2 質問事項 宅配事業について

質問の内容・要旨	回答
<p>① 宅配事業で追加募集の地域おこし隊隊員が決まらない。当初2名体制を想定していて現隊員に負担を強いていないか。</p> <p>② 小売店舗からの配達・集金業務はどのような利用実績があるか。</p> <p>③ 大手宅配業者の配達業務はどのような利用実績があるか。</p> <p>④ 現在まで事業を行いどのような手ごたえを感じているか。今後の課題は。</p> <p>以上お伺いします。</p>	<p>① 現状では、1名でできる業務内容となっており、負担にはなっていません。</p> <p>②・③ 令和3年度の実績としまして、町内の事業者（セイコーマート下川店、Qマート下川店、ナカジマ薬局しもかわ店、矢内菓子舗）の年度の宅配件数は630件。大手宅配事業者の宅配件数は6,190件となっております。</p> <p>また、町内の事業者の集金業務は、電話注文ができるセイコーマートとナカジマ薬局、矢内菓子舗であります。ナカジマ薬局と矢内菓子舗は3月から参画いただき、無料宅配となっているため集金の実績はありませんが、セイコーマートのほとんどが電話注文となっており、集金業務を行っております。</p> <p>④ 宅配サービス登録者が約60名となっており、毎月、少しずつではありますが利用件数が伸びており、寿フードセンターの店舗が閉店し、高齢者の方々困っているとの声があったことから企画し事業をスタートしました。そうした中で、高齢者の方々の利便性の向上とともにコロナ禍における生活支援が実現したものと考えます。</p> <p>今後につきましては、当初からわかっていたのですが、町内事業者の宅配だけでは経済合理性が保てないため、大手宅配事業者の宅配物の利用拡大やタクシー業務などで経済合理性を確保し、事業が継続できるよう下川ハイヤーと引き続き実証試験の中で協議検討していきたいと考えています。</p>